

参議院議員選挙方針

2015年8月29日

東京・生活者ネットワーク

生活者ネットワークは市民主権・地域主権の政治をめざし、国政においても市民参画を可能にする市民政治の実現を求めてきました。2007年の参議院議員選挙で、生活者ネットワーク出身の大河原雅子さんが当選し、国政における政策形成への市民参加を拡げることにつながりました。2009年の自民党から民主党への政権交代では、生活者ネットワークの政策実現の可能性が広がりました。しかし、2012年、わずか3年半で自民党に政権が戻り、私たちがめざす自治分権社会の実現は後退を余儀なくされています。2013年、大河原雅子さんの落選により、生活者ネットワークの政治を体現する国政のパイプ役を失うと同時に、圧倒的に女性議員の少ない国会において貴重な女性議員の議席を失うことになりました。政権交代後の、特定秘密保護法の強行採決、集団的自衛権の行使容認の閣議決定、武器輸出三原則の見直しなど、強硬に推し進める安倍政権の暴走ぶりは目に余るものがあります。特に憲法違反といわれる安全保障関連法案は立憲主義の否定であり、平和主義、民主主義を脅かすものにほかなりません。このような独裁政権に対し、「アベ政治を許さない」おおぜいの市民とともに、再度、政権交代の可能性を追求しなくてはなりません。

東京・生活者ネットワークは市民の声が届く政治、国民主権の政治を実現するため、来る参議院議員選挙で国政取り組み方針を共有できる候補者を推薦し、選挙に臨みます。

1. 参議院議員選挙・比例代表区において、大河原雅子さんを推薦します。